

FMU にじいろ通信

第14号 2025年10月発行

秋の深まりを感じる頃となりましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか。朝晩の冷え込みも増す中、インフルエンザや感染症の流行が懸念される季節となっており、感染予防に日々努めたいところでございます。

FMUスキルアップセミナーを開催しました

令和7年度 FMUスキルアップセミナーを、令和7年9月18日（木）にWebによるオンラインセミナーとして開催しました。

講師に、エルゼビア・ジャパン株式会社の井上 淳也様をお迎えし、「科学英語論文投稿セミナー 論文の書き方・出版の基本 ～大切な4つのこと～」と題し、ご講演いただきました。

他大学でも、よく利用されている“Scopus”を活用した先行研究調査のポイントや、英語論文執筆・投稿で求められる基礎について学んでいただくことができる内容となっており、参加された皆様からは、「非常に面白く、有意義な内容だった。Scopusを使ったことがなかったので、今後、積極的に文献検索で使ってみたい。」、「今後の英語論文投稿に向けて、とても参考になった。」などのご意見が寄せられました。

また、井上様の講演内容を踏まえて「入学時に全学生、院生に講習して頂きたかった。」といったご要望も頂戴しました。



Web参加者：48名

FMUキャリアサポート交流会を開催しました

令和7年度 FMUキャリアサポート交流会を、令和7年9月30日（火）に、8号館 S310会議室で開催しました。

講師に、本学看護学部小児・精神看護学部門 准教授 大川 貴子先生と、国立大学法人広島大学医学部附属医学教育センター 教授 蓮沼 直子先生をお迎えしご講演いただきました。

大川先生には「看護職の私の挑戦～“つながり”によって築かれたもの～」、蓮沼先生には「医療職のキャリアについて考えよう！～多様化するアカデミックキャリアとは」という内容でご講演いただきました。参加者からは「キャリア形成にモデルケースはないと考えているが、個別例を知ることのできる機会があるのは勉強になると思った。」といったご意見を多く頂戴しました。医療職のキャリアが多様化する中で、今回の講演では多岐にわたるモデルケースを教えていただき、これからのキャリアの選択肢を広げる良い機会を与えていただきました。歓談の時間では軽食を交えて講師の先生方との距離を縮めてお話をすることができ、参加者が自身の進路を具体的に見つめなおす良い機会になりました。



会場参加者：6名、Web参加者：15名

令和7年度 ダイバーシティ推進講演会 開催しました

日 時 2025年10月27日（月） 17：30～19：15

講演1

「大学におけるジェンダーと
ダイバーシティ
「男性性と暴力」を中心に」

福島大学教育推進機構

准教授 前川 直哉 先生



講演2

「大学における女性リーダー職
研究者育成の課題
～補助事業実施の中で
見えてきたもの～」

国立大学法人岩手大学

副学長 海妻 径子 先生



今年もダイバーシティ推進FD講演会を開催いたしました。参加者からは「示唆に富んだ講演」「改善すべき点を気づくことが出来た」と、本講演会で様々な気づき、学びを得ることができたようです。詳細は次回のにじいろ通信にてお知らせいたします。なお学内限定で後日アーカイブ配信を予定しておりますので、ぜひこの機会にご聴講ください。

会場参加者：53名、Web参加者：71名

◆用語解説◆

『心理的安全性と心理的柔軟性』とは



【心理的安全性】とは？

心理的安全性とは、集団に所属するメンバーが安心して自分の意見を言うことができ、質問することができ、自分らしくいられる職場文化を指します。心理的安全性が確保されると、イノベーションが促進され、多様な人材の活躍が期待できることから、DE&I（ダイバーシティ・エクイティ&インクルージョン）の土台のひとつとされています。

【心理的柔軟性】とは？

心理的安全性が職場における文化であるのに対して、心理的柔軟性は一人ひとりが持つスキルです。

心理的柔軟性とは、いやな考えや感情に呑み込まれることなく、自分自身が大切にしたい価値に沿って、その時々で役に立つ行動を起こすスキルです。

出典：公益財団法人 日本生産性本部

HPより一部抜粋



図書のご案内

推進室蔵書の中でも、特におすすめの本をご紹介します。貸し出しも行っておりますので、ご興味のある方は推進室までお問い合わせください。

内向型を強みにする おとなしい人が活躍するためのガイド

著：マーティ・O・レイニー著、
訳：務台 夏子訳

集団の調和を重んじる日本人には内向的な考えをする方が多く、また外向型との付き合い方に悩むことも多い。脳の動きを根拠とし、内向型にとってより良い人との接し方や社会でのあり方、休息の仕方、自分を好きになれる考え方をたくさん教えてくれる一冊。

ダイバーシティ推進室図書リストは右のQRコードから確認できます



福島県立医科大学では、個人として尊重され、性別・立場に関わらず、多様な価値観を認め合い、持てる個性と能力を最大限発揮できる環境を築き、かつ、仕事と生活の調和を実現することを目指しております。

福島県立医科大学 ダイバーシティ推進室

E-mail : gendeqsp@fmu.ac.jp / Tel : 024-547-1657（内線：2807）

HP : <https://www.fmu.ac.jp/gendeqsp/>
ダイバーシティ推進室長 前島 裕子